

プロとジュニアが創る
『ドヴォルザーク』よ響け!



ドヴォルザーク 交響曲第8番

- スメタナ「売られた花嫁～序曲」
 - ベートーヴェン「交響曲第2番」
- 指揮：阿部真也

2019年6月15日(土)
開場13:30 開演14:00

横浜市栄公会堂ホール
(JR京浜東北線「本郷台駅」下車徒歩9分)

全席自由

1,800円 (前売券1,500円)
高校生以下 (当日・前売ともに1,000円)

チケット
お申込み

横浜ゾリステンホームページ <http://www.yokozori.jp/>
鎌倉ねこの間 (永田) 0467-40-5379
※毎週月曜と第2・第4火曜を除く11:00～18:00

第6回 横浜ゾリステンと ジュニアたちの協演



黒服は横浜ゾリスデンメンバー、白服はジュニアたち。

【主催】 横浜ゾリステン
【問い合わせ】 横浜ゾリスデン事務局
(住田 045-541-6763 平日18:00～20:00)
(Email: yokozori@gmail.com)

【協力】 鎌倉ジュニアオーケストラ
【協賛】 スミノ楽器
【後援】 横浜市観光局 鎌倉エフエム放送株式会社

横浜ゾリステンのプロの指導で ジュニア演奏家たちが変身します！

6回目となるこの企画、今年は中学生7名、高校生17名、大学生7名、総勢30名のジュニアが参加(鎌倉ジュニアオーケストラだけでなく一般からも広く募集)。過去5回の公演では、参加ジュニアから「横浜ゾリステンの方々からプロの厳しさ、音楽をつくり上げる楽しさを学び、震えるほど感動した」「一生忘れられない達成感を得た」との声を、お客様からは「ジュニアが混じっているとは信じられない」「プロの演奏会より感動した」との感想を多数いただいています。また、この場からプロの演奏家を目指すジュニアたちも現れ始めています。今年も若き気鋭の指揮者を迎え、ジュニアではほぼ演奏する機会のない、憧れの大曲“ドヴォ8”に挑みます。お楽しみに！



阿部真也 (あべしんや)

指揮 ヴァイオリン

幼少よりピアノを、13歳よりヴァイオリンを始める。札幌インターナショナルスクールを経て、17歳で渡米し、サンフランシスコ音楽院ヴァイオリン、ヴィオラ科修了。2005年より拠点をドレスデンに移しオーケストラ奏者・指揮者として研鑽を積み、2018年帰国。コルドバ国際指揮者コンクール入賞。パレスチナにあるエドワードサイド音楽院教授として勤める。東京を中心に「阿部真也と仲間達室内楽シリーズ」を年に5回主催。ロームミュージックファンデーションより在外研究生として選ばれる。「パレスチナ音楽日記」を出版。今までアスペン、アフィニス、ロストロポービッチ、ナント・東京ラフォーレジュルネ音楽祭等に出演。現在、横浜シンフォニッタ ヴァイオリン、ヴィオラ奏者、「コバケンとその仲間たちプレミアムオーケストラ」首席奏者、国内外で客演首席奏者、指揮者を務める。

他、冬季、夏季室内楽講習会、Ebb & Flow Art 近現代音楽祭(マウイ)ヴィオラ講師、ラインハイト室内楽アカデミー、音の輪音楽教室などで後進の指導にも力を注いでいる。2019年にはASEAN(東南アジア諸国連合)加盟国のプロフェッショナルオーケストラから、選抜された81名の奏者を招いて開催される「響きあうアジア2019ガラコンサート」の副指揮者、首席ヴィオラを務める。



田島華乃 (たじまかの)

コンサートミストレス

1986年2月生まれ。3歳半よりピアノ、4歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を経て、桐朋学園大学音楽学部を卒業。ザルツブルク音楽祭で、E・シュミーダークラス受講。ファイナルコンサートに出演。別府アルゲリッチ音楽祭に出演。

第44回小野アンナ記念会に出演。全日本芸術音楽コンクール第二位。室内楽や都内オーケストラで演奏活動中。音の家 otonoya 代表(<http://otonoya.jimdo.com/>)

横浜ゾリステンとは？

首都圏在住の音楽家により2009年に結成された指揮者をおかない室内オーケストラ。約40名の卓越した演奏技術と高度なアンサンブルによって、新たなクラシック音楽の地平を目指す。ゾリステンとは Solist(ソリスト)の複数形で、自主的・独創的な音楽家の集まりを意味する。

